

2019年度

No 1 4月8日

# 松籟



発行者

穴水秀人

## 2019年度がスタートしました！！

4月4日（木）、例年と比べ気温があまり上がらず、肌寒く感じられたこの日、13時30分より本校体育館において、第30回入学式が厳粛な雰囲気の中で挙行されました。少し大きめの学生服に身を包み、緊張気味に引き締まった表情をしている新入生の様子から、新しい環境の中で頑張ろうとする意欲が感じられ、頼もしく思いました。中でも、新入生を代表しての清水空葵さんの誓いの言葉には、大きな決意とやる気が込められており、堂々と、そして力強く語ってくれました。これからの1年生の活躍が楽しみでなりません。

さて、式中の私からの式辞では、「夢や目標を持つことの大切さ」を伝えました。現代は、夢を持ちづらい時代かもしれません。世の中の移り変わりが激しく、個々の価値観も多様化しています。目の前の課題に対処することで精一杯の状況の中、ゆっくり夢を育てる暇なんかあるわけがないと。しかし、子供たちがやる気を出すとき、その意欲の源は、「夢（希望）」です。あんな風になりたい、こんなことをやってみたいという夢見る力と、私にもできる、私だってやれるという希望ではないでしょうか。

さらには、その夢（希望）を現実のものとするためには、段階に応じた行動目標が大切になってきます。始めから大きな目標を立てる必要はありません。むしろそれは無意味となる可能性があります。それよりも、少し努力すれば達成できる目標を掲げ、それを確実にクリアさせることの方が、よっぽど効果的です。達成できたら、もう一つレベルを上げた目標を掲げ・・・というように、その積み重ねが夢（希望）を現実のものとしさせることができると考えます。

私たちは、子供の前に立つ教師として、また、人生を少し長く経験している大人として、子供たちが夢（希望）を持ち、それを実現させるためのサポートをしていきたいと思えます。さらには、保護者の方々と情報交換を密にしていきたいながら、生徒たち自身で自己実現を図ることができる力を身につけさせたいと考えています。本校の学校教育へのご理解と力強いご支援、ご協力をお願いします。

### ～表題の「松籟(しょうらい)」ってどんな意味？～

松林を渡り抜ける風の音です。それは、「ヒュー」と尾を引くような、強烈な余韻を持つ音のようです。一心不乱に余計なことを何も考えず、ただ目標をクリアしようと打ち込んでいる時に体感する音が、「松籟」に似ているとも言われます。